

3. サテライト導入の経緯

長岡市は5つの地区に分かれる。すべての地区にサテライトを建設し、本体に住んでいる人を従前地域に戻すことを将来計画にしている。

美沢地区は其中でも最初に建設に名乗りをあげた地区である。貸主が建設し賃貸契約を結ぶ形式のため、美沢内での土地の選定は貸主の所有地によって決められた。
また、入居定員は本体に住んでいる人の人数(15名)から算定している。

4. サテライトへの転居が入居者・家族・地域住民に与える影響

1 本体から移動した利用者の選定理由

本体からの移動人数 15人

本体に住んでいる人を、入居前の地域に帰ることがサテライト居住の理念と考え、移った人はすべてその地域に住んでいた人である。

2 サテライトへ移ることによる利用者の効果

これまで慣れ親しんだ地域なのでなじみがある。

本人の生活自体は大きく変化しないが、家族や近隣住民など来訪者が増えたことにより本人に対しても効果がある。

実際に家族(妻)が歩いて訪問できるようになったり、近隣に住む同級生が遊びに来てくれる。

3 サテライトへの移行に伴う課題

施設と地域の双方が責任をもってサービスの提供にあたるのが小規模多機能とサテライトの根底にはあるため、施設は準備期間中から地域住民や家族に対して十分な説明と情報公開を行う必要がある。平成16年4月から説明会を家族・地域住民に対して実施した。

5. 職員の選定と育成

1 本体からサテライトへ異動した職員の選定理由

10年以上のキャリアがあり、在宅・施設ともに経験のある職員を配置。

2 サテライトを開始するまでの職員教育

職員は施設(ショートを含む)、在宅、訪問介護などすべてのセクションをローテーションする仕組みになっている。訪問介護を行うことにより個々の高齢者に合わせたニーズを発掘する能力がついてくる。

6. 小規模多機能との併設による利点

1 職員配置上の利点

厨房職員を共有化でき、かつ、厨房職員は配食サービスを行うことができる。

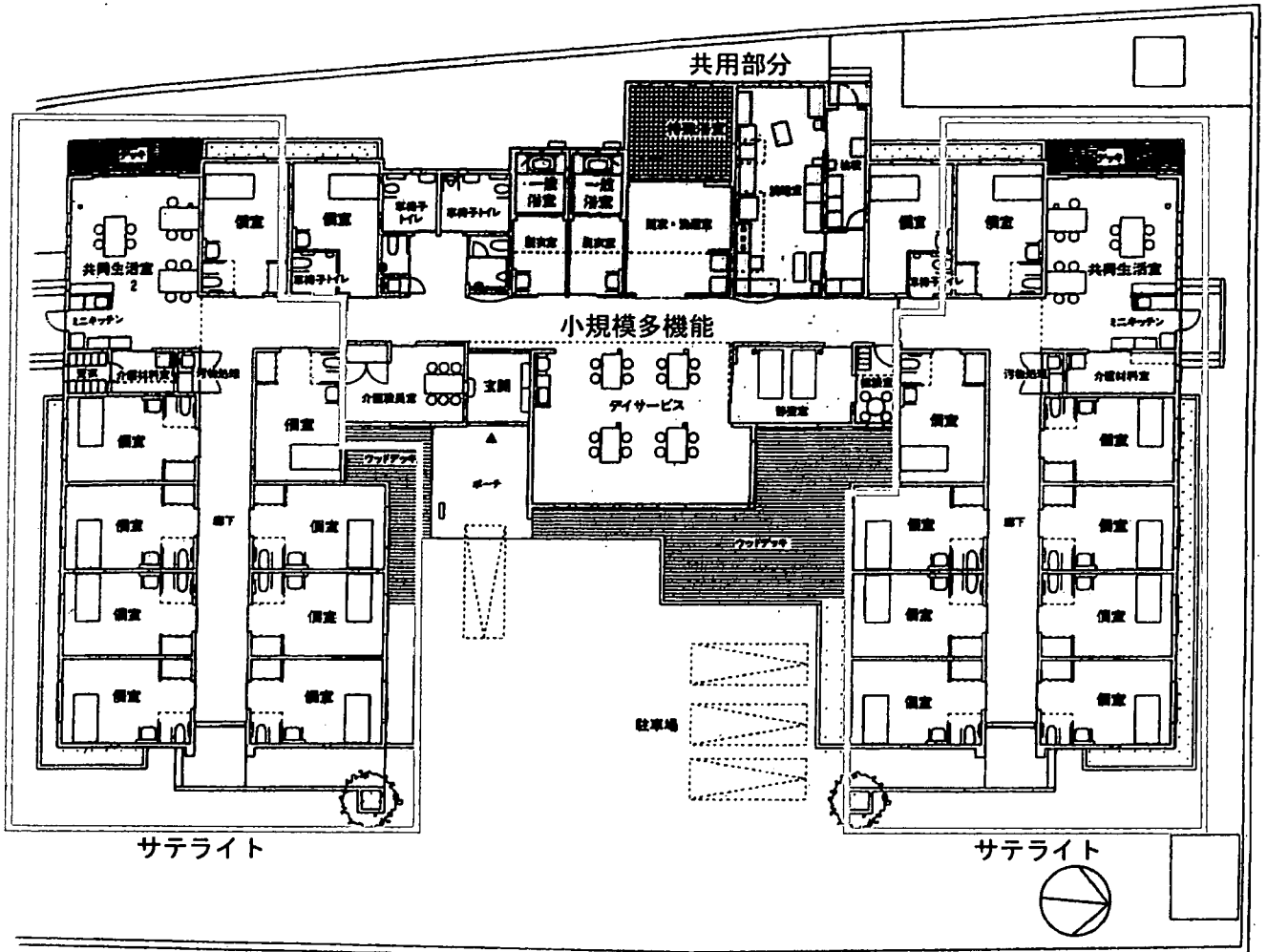
夜間は小規模多機能で1名、サテライトで1名の職員配置がなされるため、2人体制となり職員の不安が軽減される。

2 設備の共有化における利点

厨房、職員室、浴室を兼用。

3 在宅機能と入居機能を合わせる利点

小規模多機能の利用者の中には特養の待機者も含まれており、これらの利用者はサテライトに入居しても同一空間、同一職員のため環境移行による負担が少なく、施設内での人間関係や地域生活の維持を行いやすい。



図表 1-27 サテライトの平面図 1/300

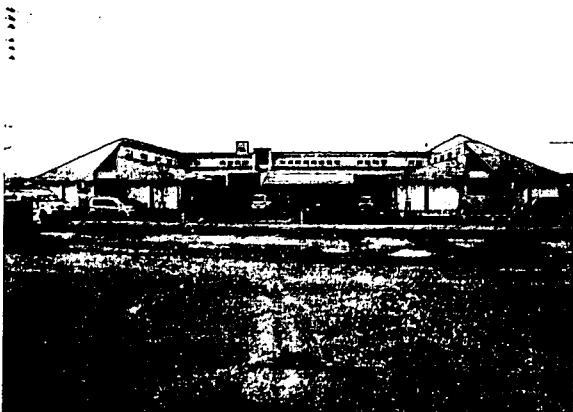


写真 サテライトの外観

中心部に小規模多機能居宅介護があり、両ウイングにサテライトが1ユニットずつある。コの字型プランである。

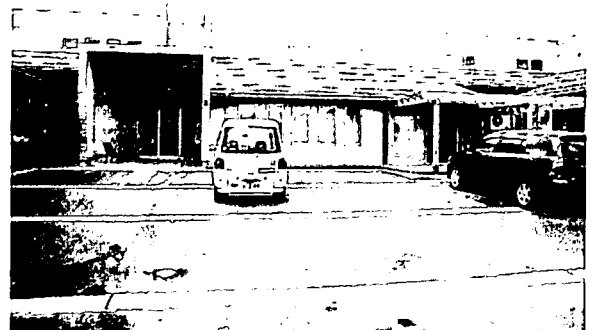


写真 サテライト・小規模多機能の玄関

玄関の横に小規模多機能があり、横にはウッドデッキが広がっている。

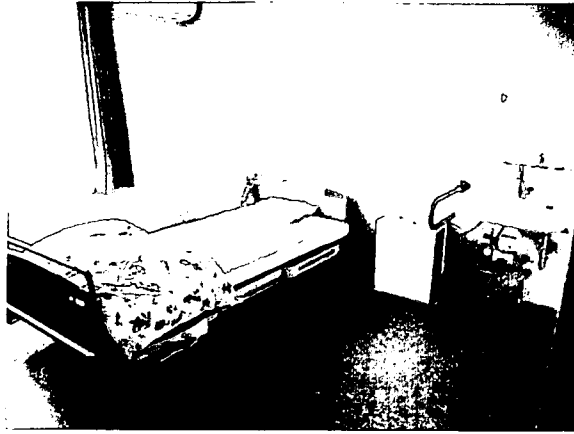


写真 サテライトの個室

すべての居室にトイレ、洗面台、収納が設置されている。



写真 小規模多機能廊下

廊下部分は天井が高くトップライトがついている。通り（デイサービス）の空間とは天井高さ、柱によって境界を作っている。



写真 厨房

厨房では、サテライト、小規模多機能、配食サービスの食事が作られる。平均して1日100食程度が作られる。



写真 小規模多機能の通いスペース

ウッドデッキと外部の2面の採光が確保されている通いスペース。

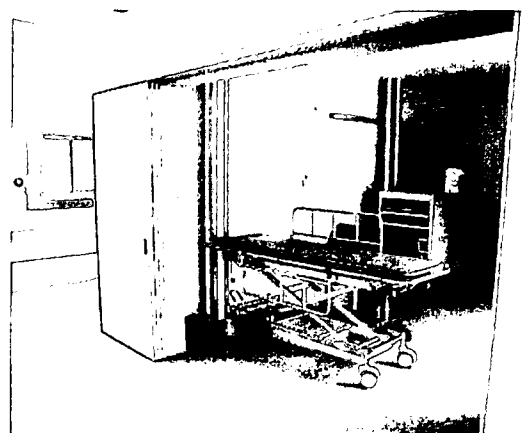


写真 小規模多機能の静養室

通いスペースと隣接して夜間に泊まることができるスペースが作られている。

1. 本体施設の概要について

1	名称	特別養護老人ホーム こぶし園
2	所在地	新潟県長岡市深沢町2278番地8
3	開設年	1982年4月1日
4	建物階数	地上:3階
5	併設サービス	重症心身障害者(児)施設、デイサービス、ショートステイ、別棟には医療施設など複数の施設がある
6	敷地面積	1972㎡
7	建築面積・延床面積	建築面積: 延床面積:
8	都市計画区域区分	市街化調整区域、建蔽率70%、容積率200%
9	建物の構造	RC造
10	平均要介護度	4.13
11	ホテルコスト	多床室: 9600 円/月(320円/日)

2. 改修の全体像

本体施設は新耐震基準以前の建築物であるため、場合によっては大規模な補修も必要となり、今後は残り4つの地区にサテライトを建設し、本体施設の定員をゼロにしていく予定である。現時点でサテライトに転出した空き居室は、空部屋が(3部屋)、1人で利用している部屋が1部屋となっている。

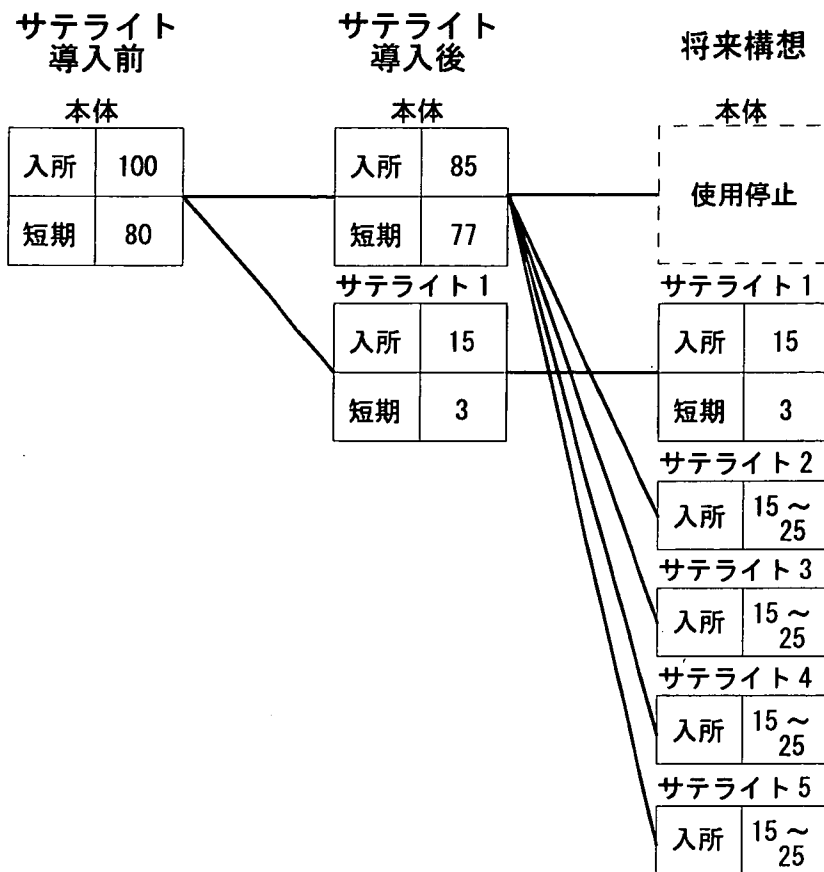
3. 改修の状況

年	内容

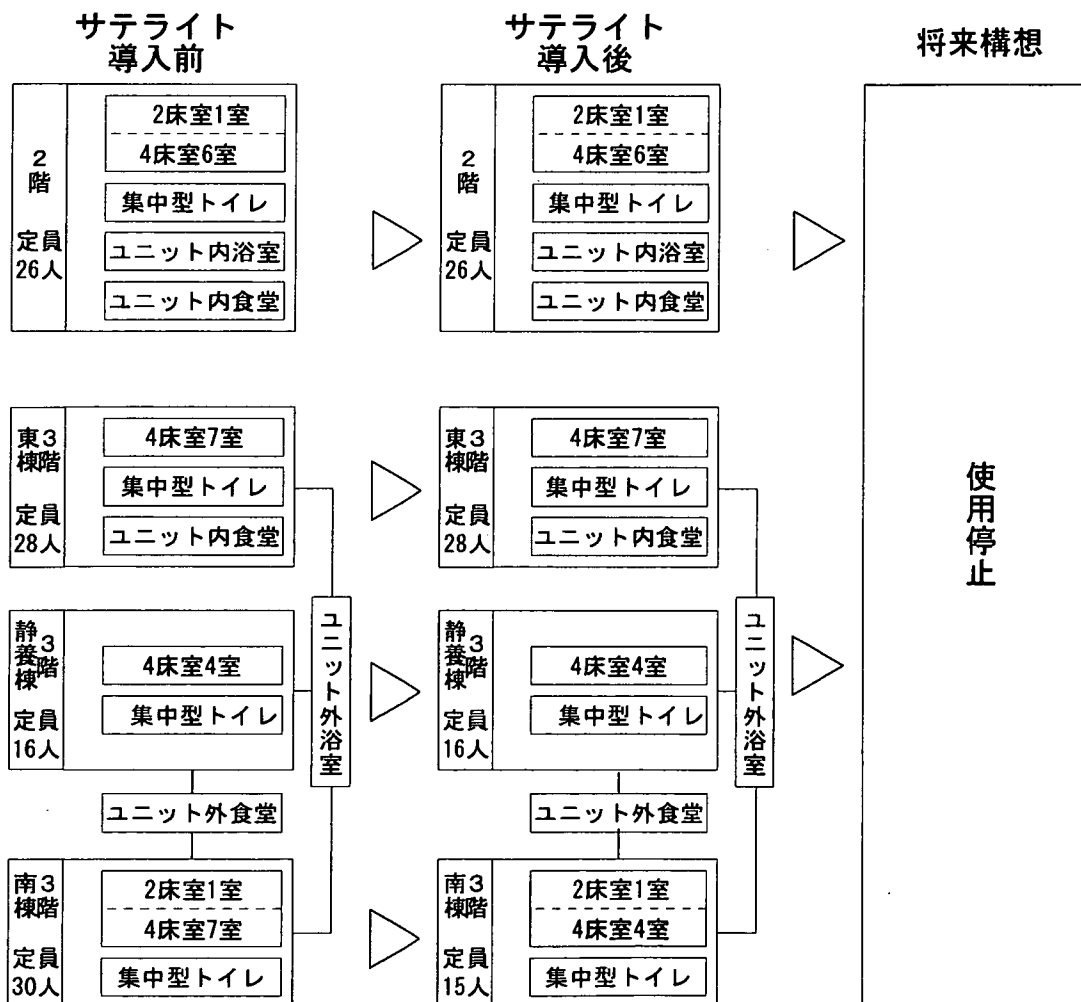
4. ソフト・ハードの概要

		改修前				改修後			
ソフト	定員	入所:100名 短期入所:80名				入所:85名 短期入所:80名			
	ユニット数	合計:4ユニット				合計:4ユニット			
	入所定員	16人:1ユニット、26人:1ユニット 28人:1ユニット、30人:1ユニット				16人:1ユニット、26人:1ユニット 28人:1ユニット、15人:1ユニット			
	職員配置 入居者:看護+介護職員	():1				2.1:1(サテライトも含めて)			
ハード	居室	個室	2床室	4床室	その他	個室	2床室	4床室	その他
		0	2	24		0	2	20	1(4床室に1人)
	改修内容	各部屋には洗面が設置されている。				転出分(15人分)は南棟に集め、空き部屋が3部屋(4床室)、1人で使用しているのが1部屋(4床室)となっている。			
食堂	ユニット毎の有無	食堂は集中型ではなく、各ユニットに分散されている。トイレは各ユニットに1箇所集中型で配置されている。							

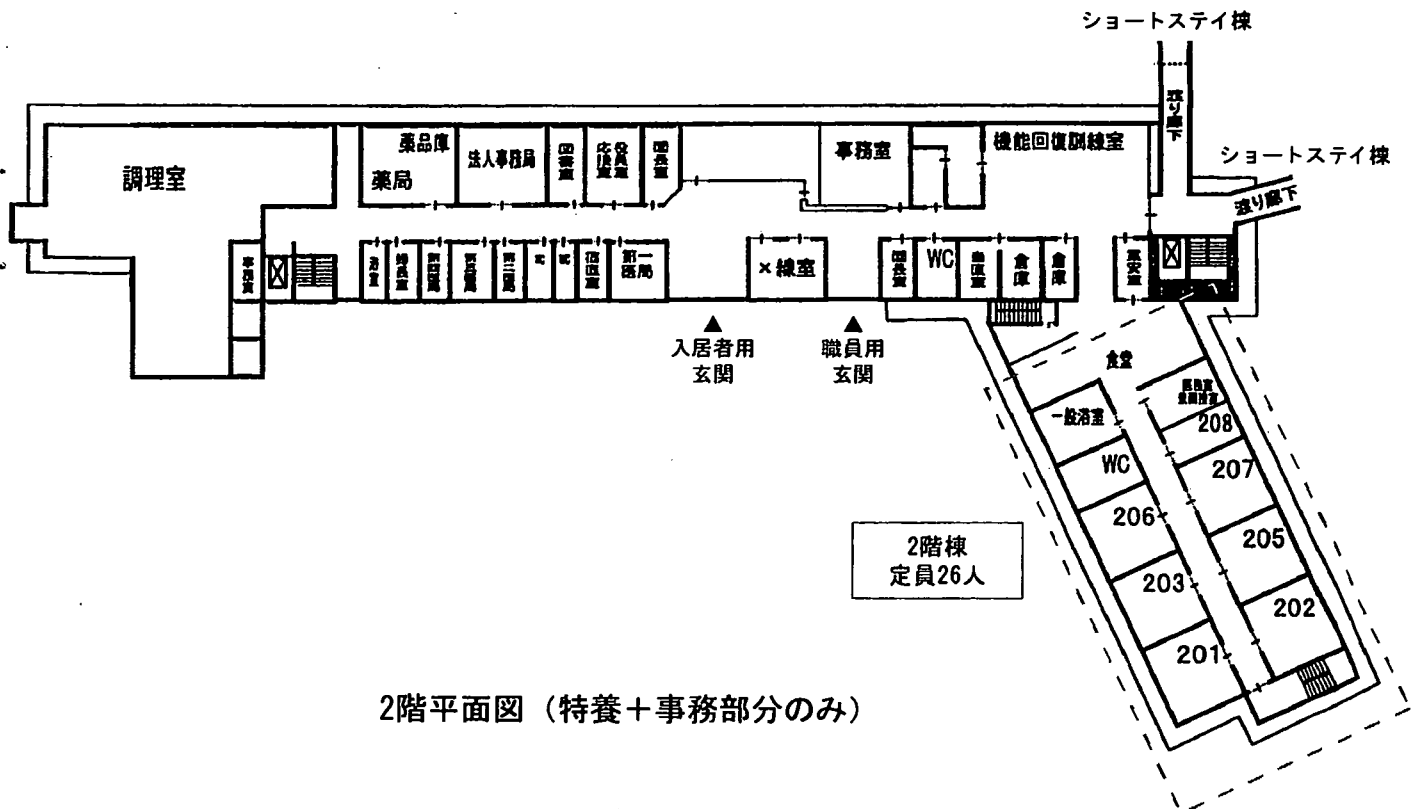
図表 1-28 本体施設の概要



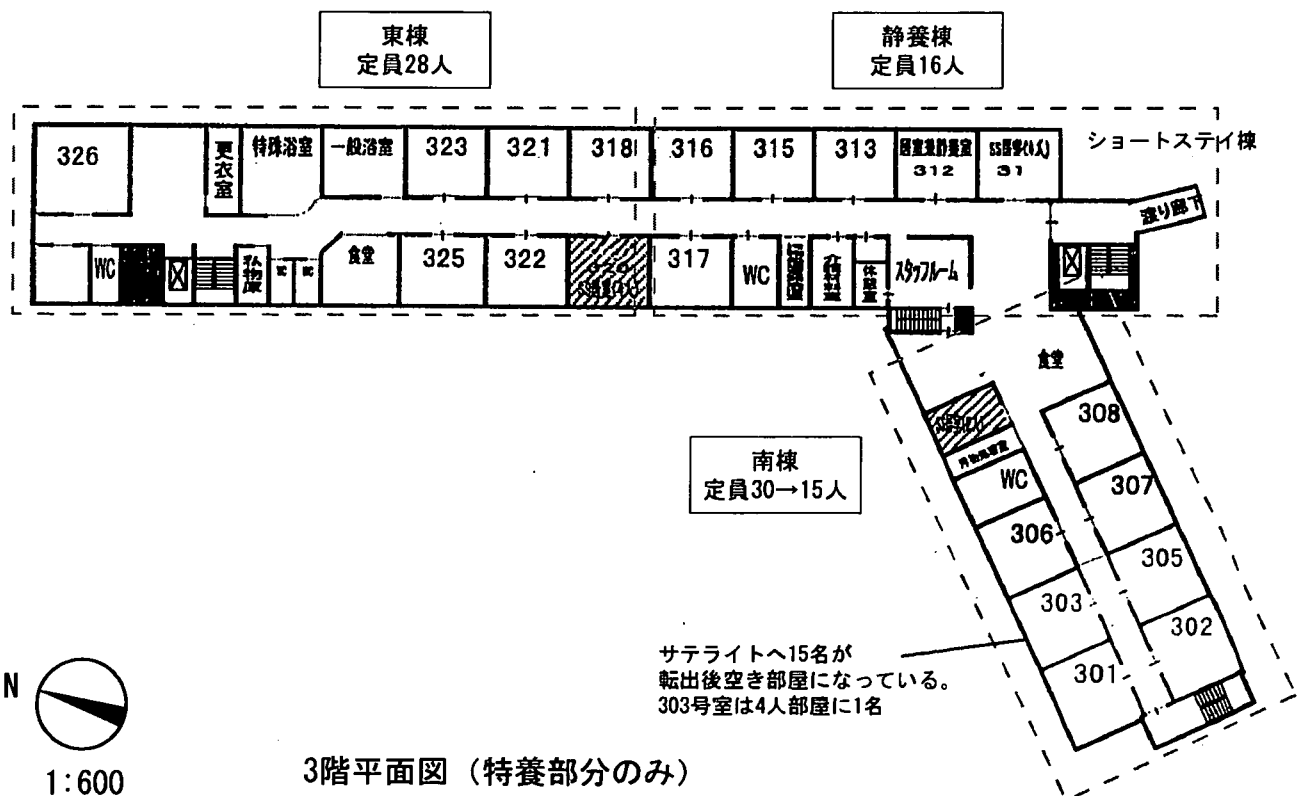
図表 1-29 衛星への展開の概要



図表 1-30 本体改修の概要



2階平面図 (特養+事務部分のみ)



3階平面図 (特養部分のみ)

図表 1-31 本体施設の平面図 1/600

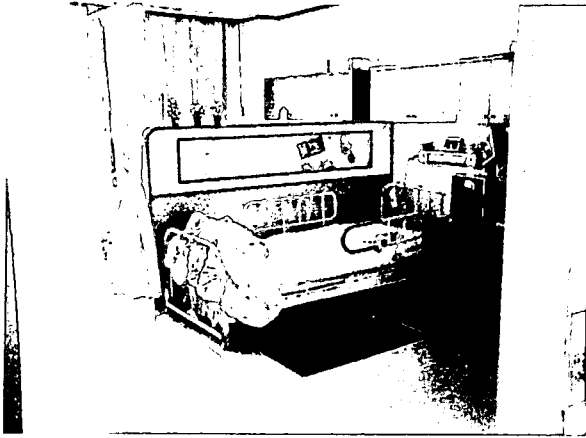


写真 4床室

各ベッドの間には簡単な間仕切りが設けられている。



写真 空き部屋の居室

サテライトへの転出分の居室は空き部屋となっている。

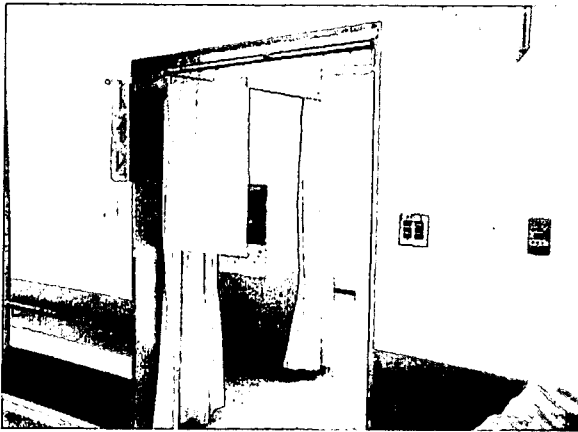


写真 トイレ

トイレは集中配置になっており、入り口は簡単なカーテンのみである。



写真 食堂

建設当時から2つのウイングの中心部に食堂が設けられている。



写真 廊下部分

両側に居室が配置され中廊下式になっている。廊下幅は広く、長尺ビニルで覆われている。



写真 特養ゾーンへの入り口

渡り廊下と特養ゾーンの境界は簡単なドアのみで区切られている。

調査事例4 社会福祉法人 恵仁福祉協会	本体施設名	特別養護老人ホームアザレアンさなだ
	サテライト施設名	アザレアン大畑サテライト

法人の概要

本体施設であるアザレアン真田は、1993年に人口約1万1千人、高齢化率24%の中山間地域である長野県小県郡真田町（現在、上田市真田町）に開設された。アザレアン真田では、自宅か施設の選択ではなく、24時間365日のサポートを受けながら、高齢者が自分らしく継続していくためのサービスを理念としており、サービスの選択肢を増やすべく開設から毎年少しずつ施設機能の拡充や地域展開を図ってきている。

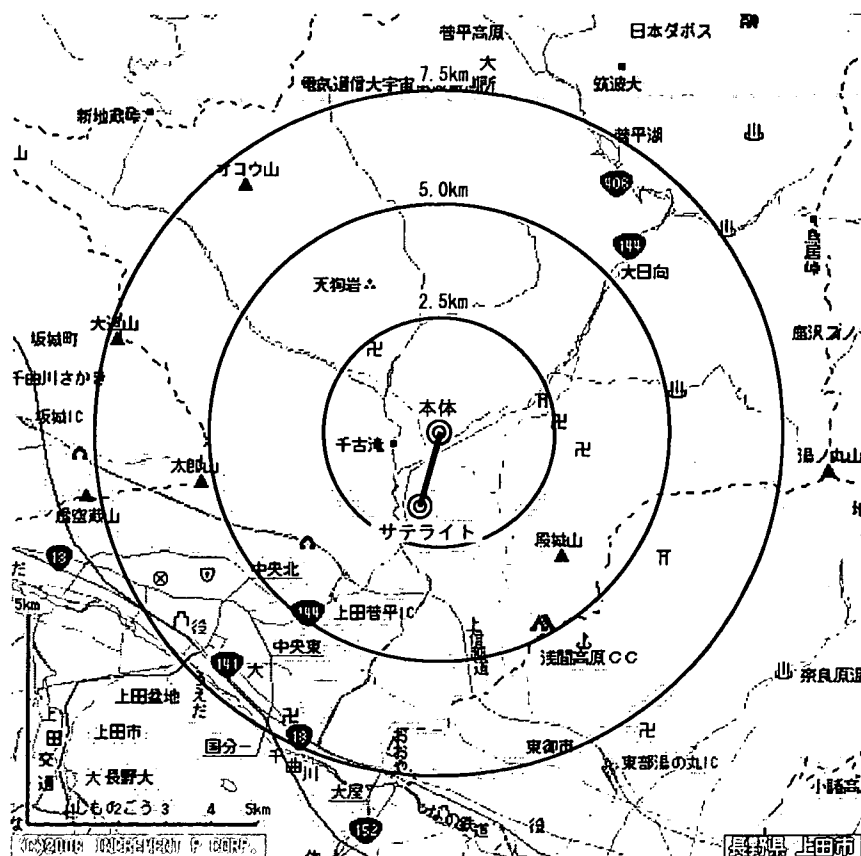
地域展開の特徴は、①エリアを決めて提供していること、②24時間365日の宅配型サービスを提供していること、③居住型、通所型、多機能型のサポート環境を町内に構築したこと、④できる限り既存の資源を活用し、新設によるインシヤルコストを抑えたことにある。現在では、高齢者の人のつながりや生活動線に考慮し、町内を4つの小学校区（旧村単位）に分けてサービスを提供している。地域の人口規模・構成によって差はあるが、デイサービス3施設、民家改造型宅老所2施設、グループホーム3施設が既に整備されている。

今後は、平成18年から20年に本体特養のサテライト施設をさらに建設し12名を地域に戻すことに加えて、グループホームを6床建設する予定である。

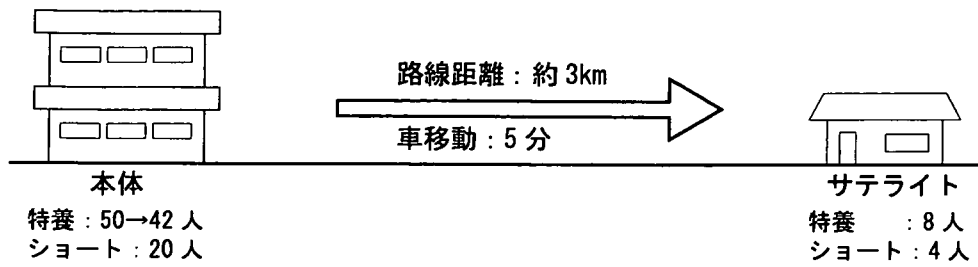
本体およびサテライトの立地と位置関係

本体施設は真田町の中心地に位置し、鉄道の最寄り駅である上田駅からは車で20分のところにある。施設は山間部であるが真田町の中心地域にあり、周辺は農業を主体とした地域である。

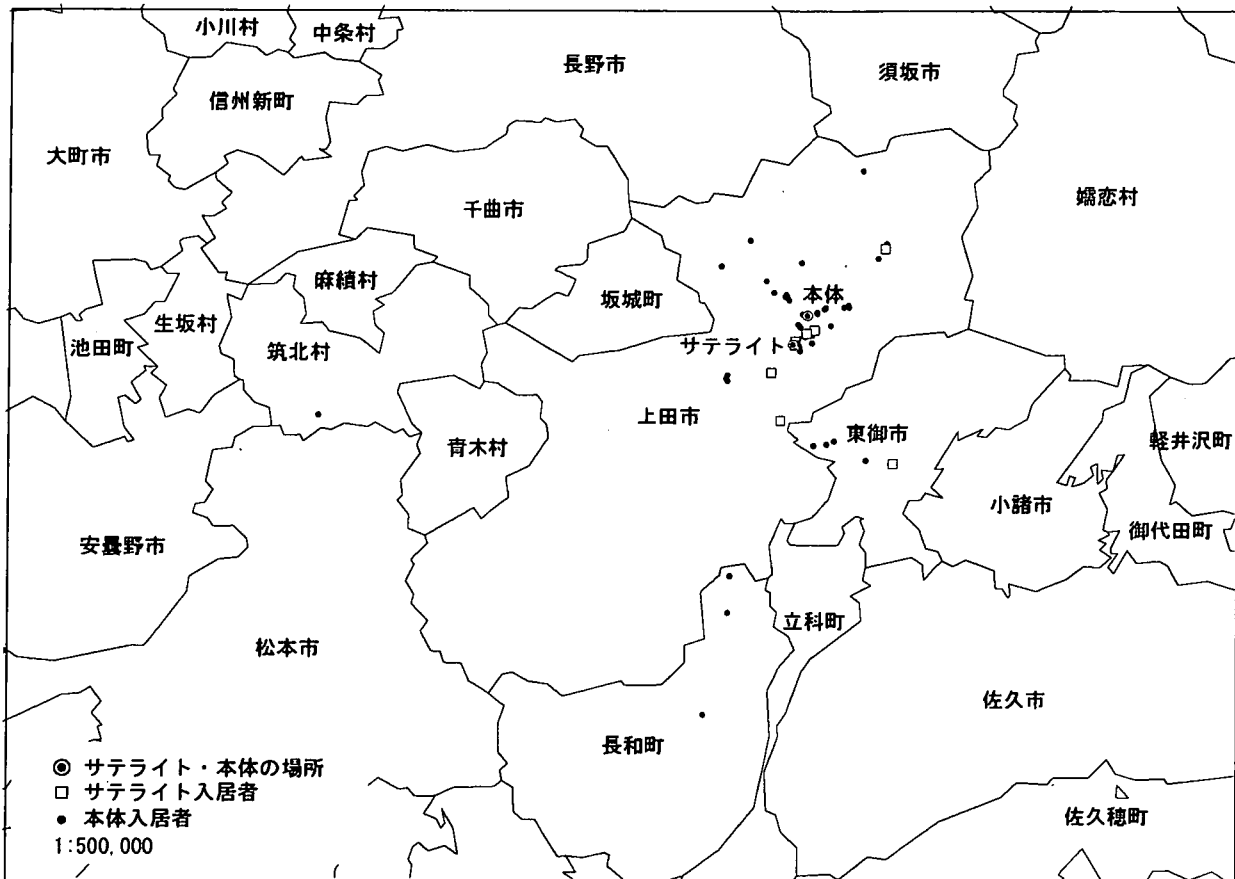
サテライト施設は、本体から車で5分程度（直線距離で約2キロ）の場所にある。周辺は住宅地であり、本体施設、サテライト施設双方とも町の中心部にある。



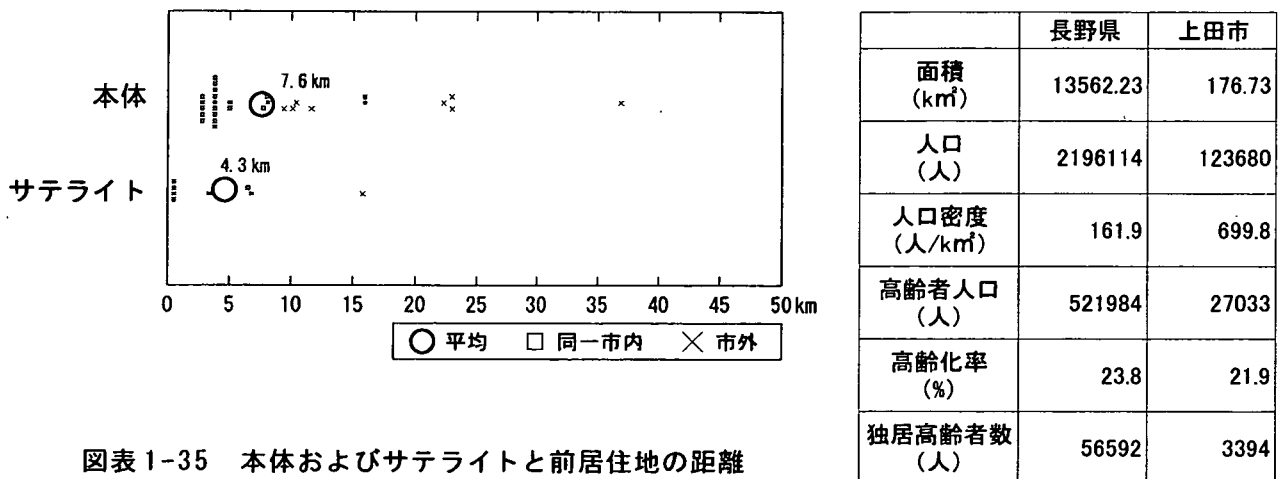
図表 1-32 本体およびサテライトの位置とその関係



図表 1-33 本体とサテライトの距離



図表 1-34 入居者の前居住地の分布



図表 1-35 本体およびサテライトと前居住地の距離

1. サテライト施設の概要について

1	名称	アザレアン大畑サテライト	
2	開設年	2005年11月1日	
3	所在地	長野県上田市真田町大字本原772-2	
4	本体との距離	路線距離:約3km 移動時間:車5分 徒歩:30分	
5	建物階数	地上:1階	
6	敷地面積	2523.87㎡	
7	建築面積・延床面積	建築面積:554.85㎡ 延床面積:555.18	
8	都市計画区域区分	都市計画区域外	
9	土地・建物の所有形態	土地:賃借 建物:賃借	
10	建物の構造	木造(準耐火)	
11	併設サービス	小規模宅幼老所 (小規模多機能サービス拠点の申請中,2006年10月時点)	
12	建設費	建設費用	1.4億円程度(オーナー負担)
		うち交付金額	なし
	リース代	土地建物合せてサテライト115万、小規模多機能55万、合計170万円/月	
	ホテルコスト	59,100円/月 (1,980円/日)	
	食費	41,400円/月(1,380円/日)	
13	定員数	入所部門: 8人、短期入所部門: 4人	
14	平均要介護度	3.9	
15	ユニット数	1ユニット	
16	ユニット定員	12人×1ユニット	
17	職員配置	入居者:看護+介護職員 2.17:1	
18	介護職員	常勤 7人	
19	日中の介護職員の勤務シフト	1ユニットで固定	
		早出:7時半～16時半	
		日勤:8時半～17時半(1ヶ月の2/3程度、リーダーのみの勤務)	
		遅出:13時～21時	
		準夜勤:15時～24時 深夜勤:0時～9時	
20	1ユニットの職員数(標準)	朝食時:2人、昼食時:1～2人、夕食時:2人	
21	夜勤の勤務体制	1ユニット(12人)で1人	
22	夜勤の勤務時間	8時間	

2. サテライトと本体との協力関係

1	全般	施設長	本体と兼務
		生活相談員	本体と兼務
		事務員	本体と兼務
2	医療	医師	本体と兼務(本体と同じ嘱託医が担当)
		看護	本体と兼務(訪問頻度:毎日1名が常駐) 4名の看護職で本体とサテライトをカバー。内、1名がサテライト勤務。
3	食事	栄養士	本体と兼務
		調理員	サテライト専属
		調理方法	サテライトのユニットで食事を全て作る 7時から19時まで常に1名の調理員を配置(3名でシフト) 調理員は配膳から片付けまでを行い、共用部分の掃除なども行う 献立は本体、食材は業者に依頼し別々に配送。 検食は本体。
4	協力上の特徴	1.看護:利用者の継続的な状況把握のためにサテライト担当職員は固定。 シフトは本体に組込まれるが勤務時間はサテライトに常勤。 小規模多機能開始後はシフト・勤務時間ともにサテライトに固定予定。 2.調理:サテライト内で行う。 3.事務:LANを用いて本体で行う。	

図表 1-36 サテライト施設の概要

3. サテライト導入の経緯

- ①利用者の生活空間の居住性を良くしたい。
- ②小規模多機能居宅介護サービスと組合せて経営・運営することによるメリット。
- ③在宅サービスに入所機能を併設させることで、入所機能と地域の接点が日常生活圏に内包される。
- ④本体に隣接した土地を購入するよりも別敷地で土地所有者に建物を建設してもらう方がイニシャルコストがかからず介護サービスに注力できる。

4. サテライトへの転居が入居者・家族・地域住民に与える影響

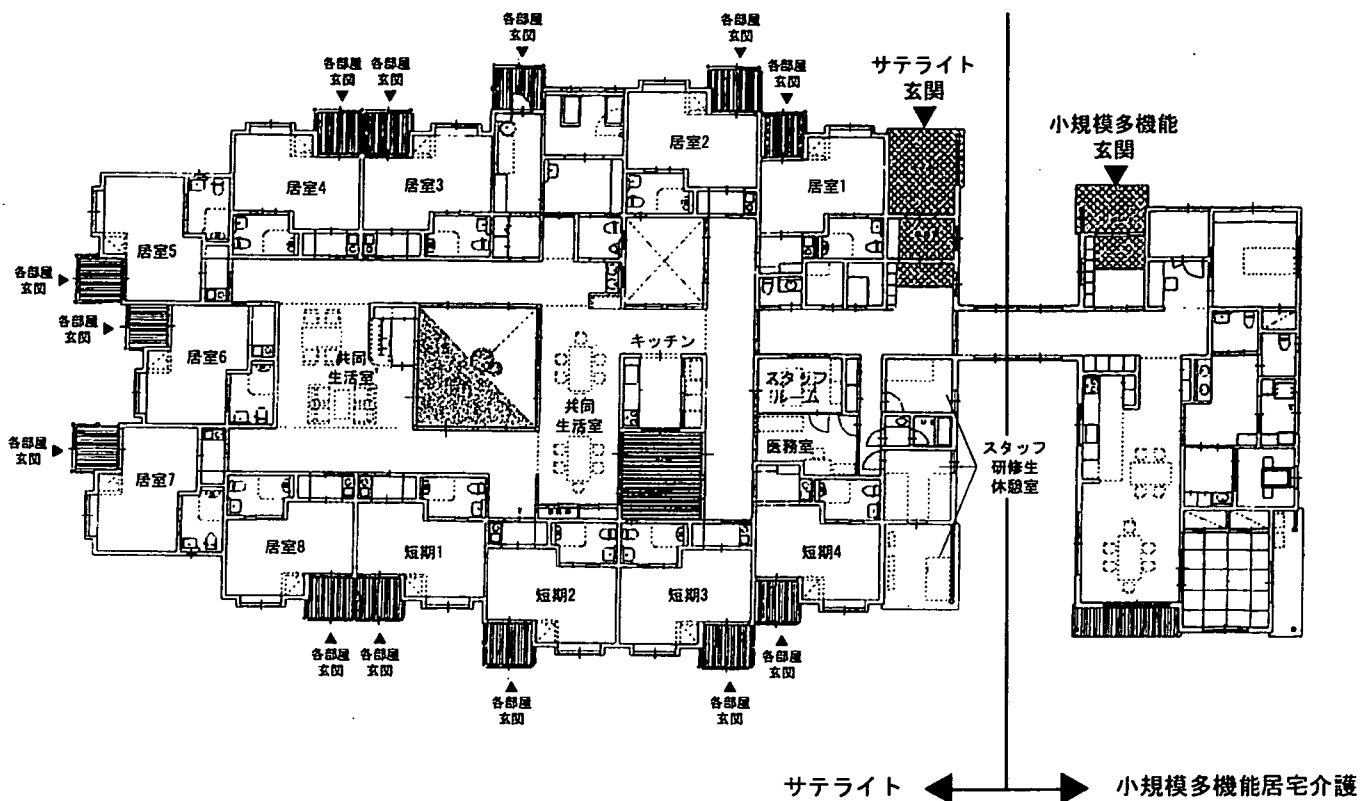
1	本体から移動した利用者の選定理由
本体からの移動人数 8人	
本体施設の入居者50名の内、真田町35名、上田町5名、青木・長和地域10名。 (青木・長和地域は上田市ではなく小県郡に属する) サテライトは真田地域にあり、主として真田の人が移った。	
2	サテライトへ移ることによる利用者の効果
家族の面会が増えた。	
3	サテライトへの移行に伴う課題(入居、家族、地域)
ホテルコストという経済的理由で移れない人がいた。	

5. 職員の選定と育成

1	本体からサテライトへ異動した職員の選定理由
本体でのユニットケアを経験したベテラン職員をサテライトのリーダーとした。その結果、本体旧館3名、本体新館1名、サテライト1名の計5名がリーダーとなった。 サテライトに出る人選は、本体に残る人とのバランスも考慮しリーダーに任せた。 サテライトを実施するにあたり常勤職員を3人増加した。	
2	サテライトを開始するまでの職員教育
サテライトにはベテランを配置し、若手の教育は本体にて行った。	

6. 小規模多機能との併設による利点

1	職員配置上の利点
夜間は小規模多機能で1名、サテライトで1名となり、2人体制になり職員の不安が軽減される。 小規模多機能とサテライトで看護職を兼務させると、サテライトと小規模多機能内でシフトを固定できる(常勤1名、非常勤1名を想定)。	
2	設備の共有化における利点
共有していない	
3	在宅機能と入居機能を合わせる利点



図表 1-37 アザレアン大畑サテライト施設の平面図 1/300



写真 サテライト外観

住宅地から入った袋小路にサテライトと小規模多機能住宅介護の玄関が並んでいる。

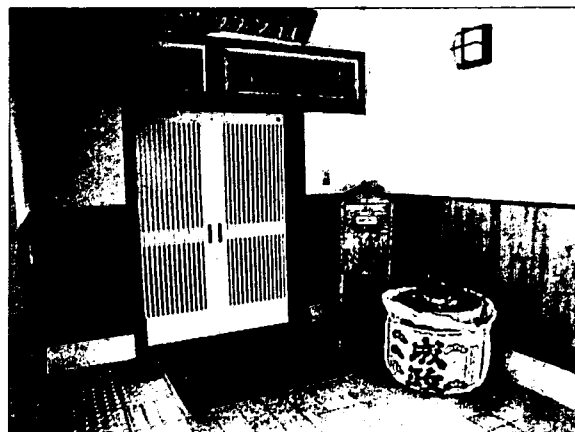


写真 サテライトの玄関

純和風の玄関。ドアを開けると広めの玄関がある。玄関には段差がある。



写真 居室

各居室は21㎡あり、トイレ、洗面が備え付けられている。居室は2つのゾーンにわかれており、「寝」以外のスペースがある。



写真 居室玄関

共用玄関とは別に各居室に玄関が設けられており、直接外部との出入りが可能になっている。



写真 廊下

回廊型の空間構成であり、廊下の一方は共同生活室、または中庭に面している。廊下幅は1.8mであるが圧迫感はない。



写真 共同生活室1

共同生活室に隣接されたキッチンで食事はすべて作られ、生活の中で作る→食べる一片付けるという行為が完結される。



写真 共同生活室2

食事スペースとは中庭を介して、畳コーナーのある共同生活室がある。



写真 食品管理庫

本体で一括注文された食材が、直接業者からサテライトに運ばれ、食品管理庫で保管される。

1. 本体施設の概要について

1	名称	特別養護老人ホーム アザレアンさなだ
2	所在地	長野県上田市真田町長7141-1
3	開設年	1993年4月1日
4	建物階数	地上:1階
5	併設サービス	ショートステイ20名、デイサービスA型21名、デイサービスE型8名
6	敷地面積	15240.88㎡
7	建築面積・延床面積	建築面積:2366.84㎡、延床面積:3181.03㎡
8	都市計画区域区分	都市計画区域外
9	建物の構造	RC造(一部鉄骨造)
10	平均要介護度	
11	ホテルコスト	従来型個室:34,500万円(1,150円/日) 多床室:9,600円/月(320円/日)

2. 改修の全体像

<p>本体は築13年なので今後も使用していく予定である。平成20年にサテライトをもう一つ建設し、その後に本体の改修を予定している。現在の4床室は、個室2部屋か、もしくは個室1部屋に改修する予定である。 大規模改修時には完全な個室ユニットとし、中庭部分にリビング、トイレ、浴室を増築するなど、設備面も合わせて改修を行う予定である。</p>
--

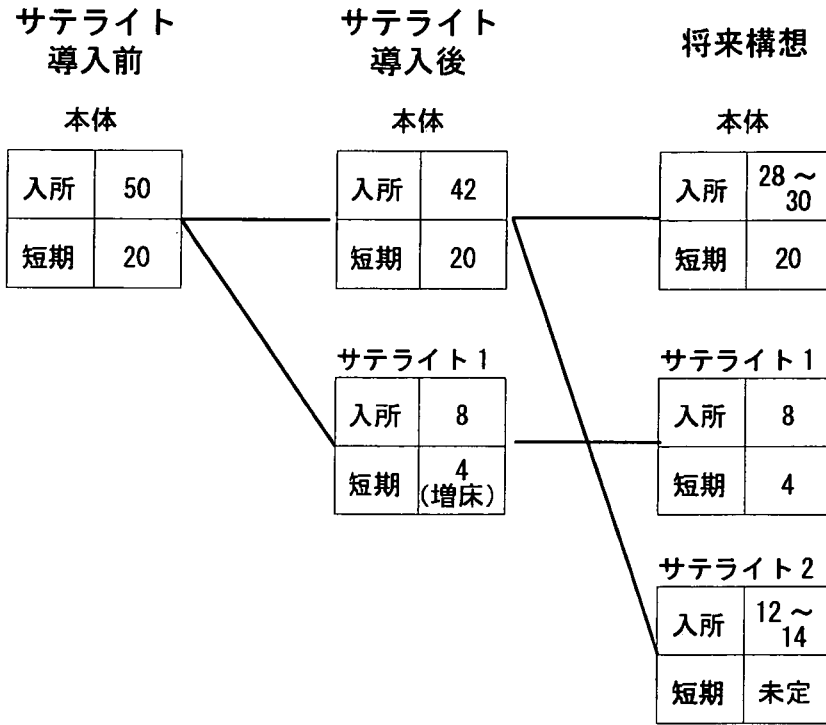
3. 改修の状況

年	内容
1997年 2006年	個室・ユニット型の新棟(10名)を増築 廊下・職員質部分をリビングとして改修(約800万円) 食堂分散、キッチン増設を実施

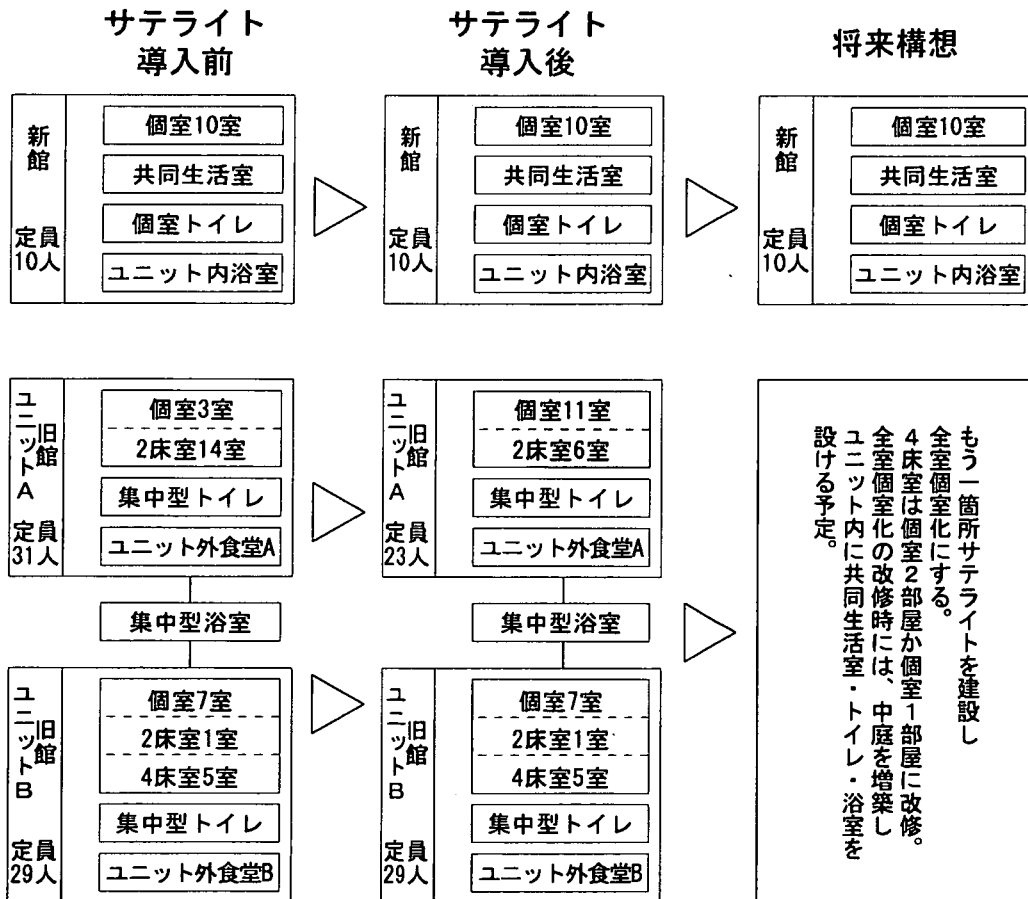
4. ソフト・ハードの概要

		改修前					改修後					
ソフト	定員	入所:50名 短期入所:20名					入所:42名 短期入所:20名					
	ユニット数	合計:3ユニット(短期入所を含む)					合計:3ユニット(短期入所を含む)					
	ユニット定員	10人:1ユニット、29人:1ユニット 31人:1ユニット					10人:1ユニット、23人:1ユニット 29人:1ユニット					
	職員配置 入居者:看護+介護職員	():1					2.1:1(サテライトも含めて)					
ハード	居室	部屋数	個室1	個室2	2床室	4床室	その他	個室1	個室2	個室3	2床室	4床室
		10	10	15	5		10	10	8	7	5	
	改修内容	新築部分は全室個室でトイレ、洗面あり。旧館部分の個室、2床室、4床室は洗面のみ。					サテライトへの転出に伴い旧館の2床室8部屋を個室化。個室化の各室には従来から洗面が設置されており、内装の修繕は行っていない。					
食堂	ユニット毎の有無	4ユニットのうち、新館のみ共同生活室があり、他ユニットでは大食堂もしくは広めの廊下を食堂として利用。					広めの廊下の両端をドアで仕切りキッチンを設置。スタッフルームも内装の修繕とキッチンの設置を行い食堂として利用。					

図表 1-38 アザレアン真田本体施設の概要



図表 1-39 サテライトの展開の概要



図表 1-40 本体改修の概要



写真 食堂B

開設時は廊下であったが、内装の変更やキッチンの増設を行い共同生活室に改修した。右図のユニットA、ユニットB（一部）の共同生活室として使用されている。

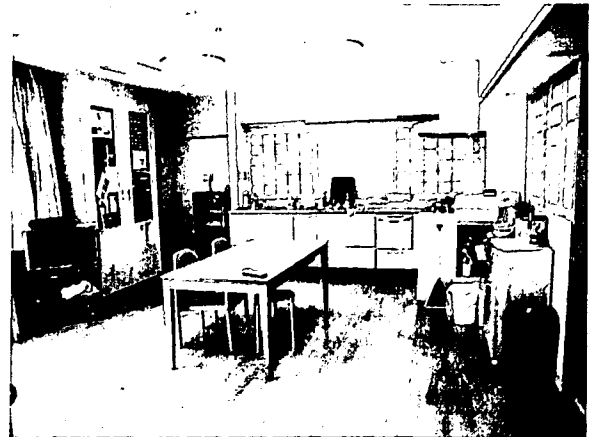


写真 食堂A

スタッフルームであった場所にキッチンを増設し、共同生活室に改修した。ユニットBの共同生活室となっている。



写真 廊下

廊下には骨折予防のためにクッションフロアが敷かれている。回廊型のため、廊下が中庭に面しており、採光を得やすい。



写真 デイコーナー

ユニットAとユニットBの間にあるデイコーナー。面積が狭い、他の共同生活室から離れているなどの要因によりあまり使われていない。



写真 共同生活室

増築されたユニット型の共同生活室。すべてが木質できており、落ち着き感がある。

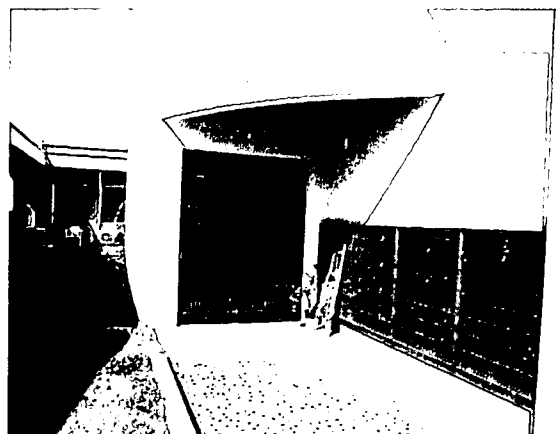


写真 外部玄関

増築ユニットから外へ直接出ることができる玄関。建設時から、ユニットから地域への展開が意識されていた。

調査事例5 社会福祉法人 新生会	本体施設名	サンビレッジ新生苑
	サテライト施設名	サンビレッジ大垣

法人の概要

特別養護老人ホームサンビレッジ新生苑は、岐阜県池田町にて地域医療を行う新生病院を母体とし、1976年に開設された。新生苑は、新生病院に併設して建設されており、お互いは廊下でつながっている。

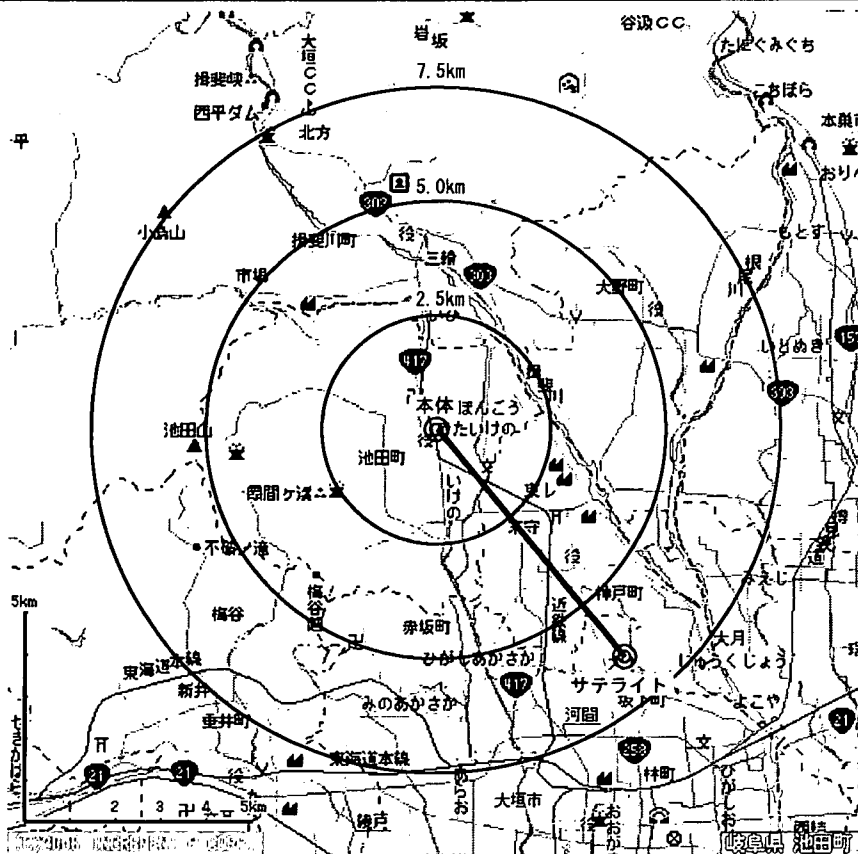
1993年には同一敷地内に補助金を受けない自由契約型特養を建設し、2003年には、同一地区内に全国初の一戸建て有料老人ホーム ヴィラ・アキーノを建設するなど、居住環境の向上に対して先進的な取り組みを行ってきた。また、医療福祉専門学校を設立し教育から実践までの総合的なケア体制を整えている。

在宅サービスに対しては、主に関連法人の株式会社 新生メディカルが担っている。新生メディカルは岐阜県下に18の営業所を持ち、訪問介護、訪問入浴などを行っている。さらに新生メディカルでは、「校舎のない学校」という住民と医療、介護福祉、教育、建築、行政の専門家たちが分野をこえて一体的に活動を行うワークショップも主催している。

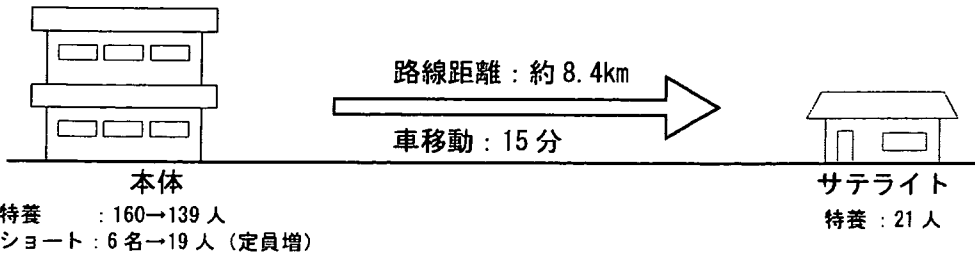
本体およびサテライトの立地と位置関係

本体がある池田町は、田園地域と点在する集落によって構成されている。本体敷地は、私鉄の最寄り駅から直ぐのところであり、周辺は住宅地に囲まれている。

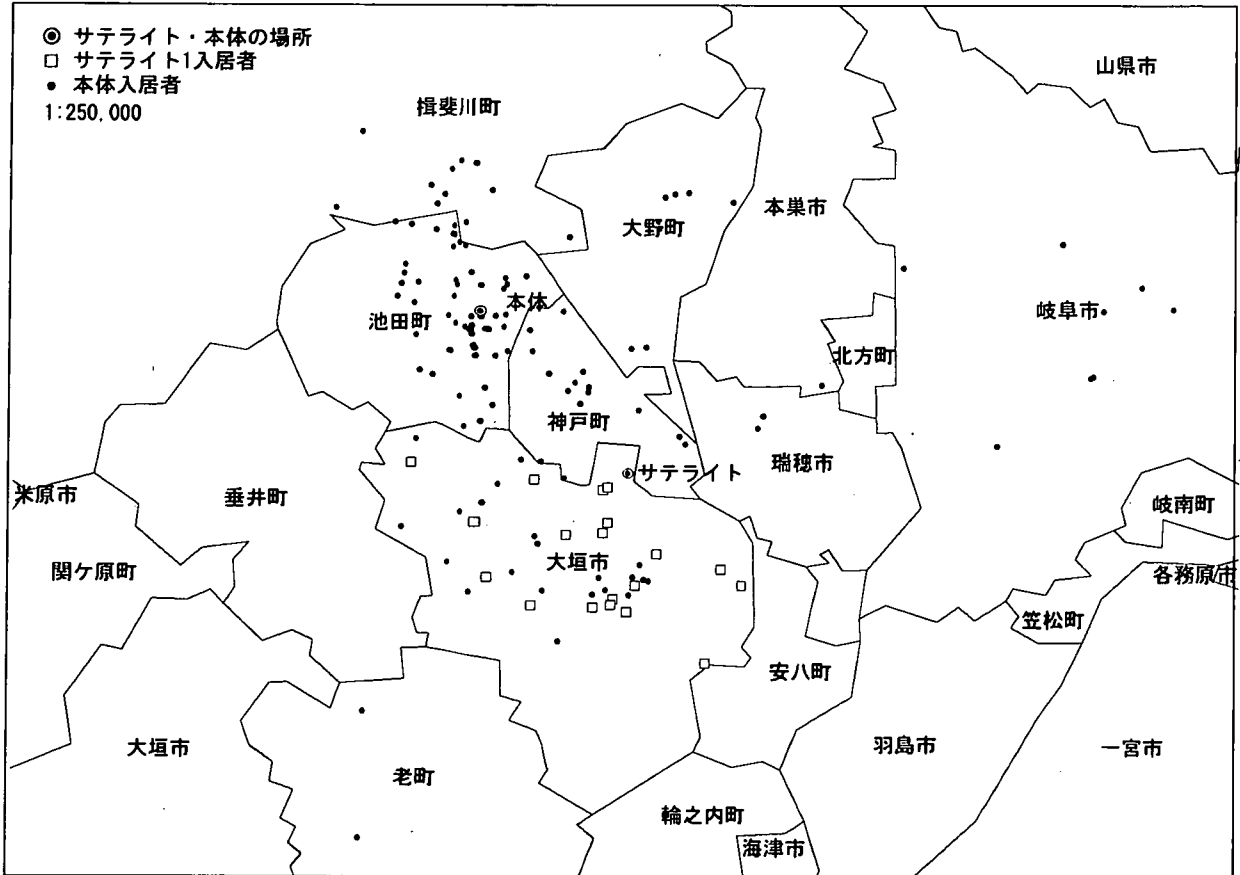
サテライトは、岐阜県大垣市の北部に位置し、本体がある池田町にも近い。本体とサテライトは直線距離で約7km離れており、車で約15分のところにある。サテライトのすぐとなりには岐阜経済大学があり、周辺地域の中では文教地区になっている。



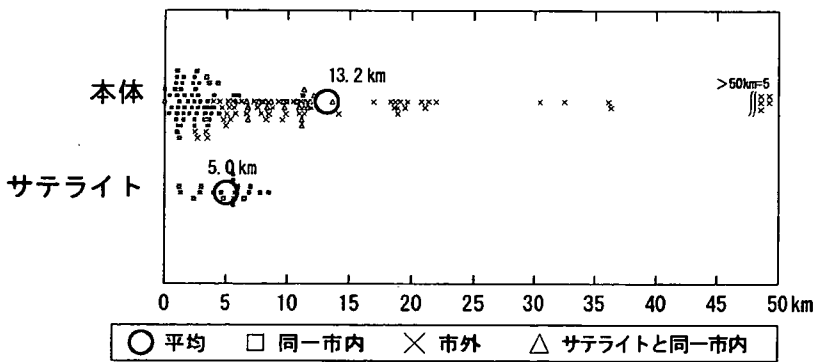
図表1-42 本体およびサテライトの位置とその関係



図表 1-43 本体とサテライトの距離



図表 1-44 入居者の前居住地の分布



	岐阜県	大垣市
面積 (km ²)	10621.17	79.75
人口 (人)	2107226	151030
人口密度 (人/km ²)	198.4	1893.8
高齢者人口 (人)	442124	29459
高齢化率 (%)	21	19.5
独居高齢者数 (人)	45058	3446

図表 1-45 本体とサテライトと前居住地の距離

1. サテライト施設の概要について

1	名称	サンビレッジ大垣	
2	開設年	2006年3月31日	
3	所在地	岐阜県大垣市北方町5丁目35番地	
4	本体との距離	路線距離:約8.4km 移動時間:車15分	
5	建物階数	地上:2階	
6	敷地面積	3433㎡	
7	建築面積・延床面積	建築面積:919.45㎡、延床面積:1456㎡(内、サテライト部分:920.7㎡)	
8	都市計画区域区分	市街化調整区域、建蔽率60%、容積率200%	
9	土地・建物の所有形態	土地:法人の自己所有、建物:法人の自己所有	
10	建物の構造	RC造	
11	併設サービス	認知症デイ(12名)、グループホーム6床、訪問看護、地域交流室、配食センタ	
12	建設費	建設費用	約3億4千万円
		うち交付金額	5千750万円(特養4千万、デイ1千万、地域交流750万)
	リース代	—	
	ホテルコスト	59,100円/月 (1,970円/日)	
	食費	41,400円/月 (1,380円/日)	
13	定員数	入所部門:21人	
14	平均要介護度	3.5	
15	ユニット数	2ユニット	
16	ユニット定員	9人:1ユニット、12人:1ユニット	
17	職員配置	入居者:看護+介護職員 2.6:1	
18	介護職員	常勤 6人 非常勤 0.9人 合計6.9人	
19	日中の介護職員の勤務シフト	2ユニットで固定(勤務日の担当ユニットの固定はある)	
		早出:7時~16時	各ユニット1名
		遅出:13時~22時	各ユニット1名
		夜勤:22時~7時	2ユニットで1名
20	1ユニットの職員数(標準)	朝食時:1人、昼食時1人、夕食時:1人	
21	夜勤の勤務体制	2ユニット(21名)で1人	
22	夜勤の勤務時間	8時間	

2. サテライトと本体との協力関係

1	全般	施設長	サテライト専属(デイサービス、グループホームを含めた施設長を1名配置)
		生活相談員	サテライト専属(ただし、併設施設の業務も行っている)
		事務員	サテライト専属
2	医療	医師	本体と兼務
		看護	サテライト専属 サテライトへの看護職の配置は1.3人
3	食事	栄養士	サテライト専属
		調理員	サテライト専属
		調理方法	サテライトの厨房で作る(ご飯はユニットで炊く) 真空低温調理を取り入れ、サテライト、GHの食事のほかに在宅、同法人の専門学校、他法人のGHへの配食サービスも行っている。サテライトの厨房をセントラルキッチンとし、本体への配食も一部行っている。 職員配置:センタ長1名、下処理2名、調理2名、盛付け1.5名、洗浄0.5名
4	協力上の特徴	<p>1.看護:サテライト、GH、認知症デイに全体で4名の看護職がいる。 4人の内、看護専属(常勤)が1名。看護専属(非常勤)が1名いる。 その他、介護との兼務(常勤)と相談員(常勤)との兼務が各1名いる。</p> <p>2.調理:厨房機能の拠点を本体からサテライトへ移す。本体と地域をカバー。</p> <p>3.事務:LANを用いて本体と情報を共有化している。</p>	

図表 1-46 サテライト施設の概要